

V44c OASIS における測光システムの評価

奥村真一郎 (東大・理 / 国立天文台)

今期より共同利用に供されている岡山近赤外多目的カメラ OASIS の J、H、K (K') 広帯域撮像による標準測光システムの定量評価を行なった。

スペクトル型の既知である近傍の星の測光を行ない、Bessell and Brett (1988) により求められている intrinsic な color との比較を行ない、OASIS の測光システムにおける color の特性について評価を行なった。測光誤差が大きく (平均的には 0.05mag)、現時点ではサンプル数もそれほど多くないが、OASIS の J-H、H-K' の color は Bessell and Brett の J-H、H-K の color とくらべて誤差の範囲内で一致することがわかった。また、H-K と H-K' との比較も行なったが、こちらも有意な差は見られなかった。この理由として、

長波長側 ($> 2.3 \mu m$) での岡山での透過率が悪い。

and/or

OASIS の K' フィルターが通常の K' (e.g., Wainscoat, Cowie, 1992) に比べて短波長側に cut off がある。の 2 つが考えられる。

以上の結果について詳しくポスターで発表する。

参考

Bessell, Brett, 1988, PASP 100, 1134

Wainscoat, Cowie, 1992, AJ 103, 332